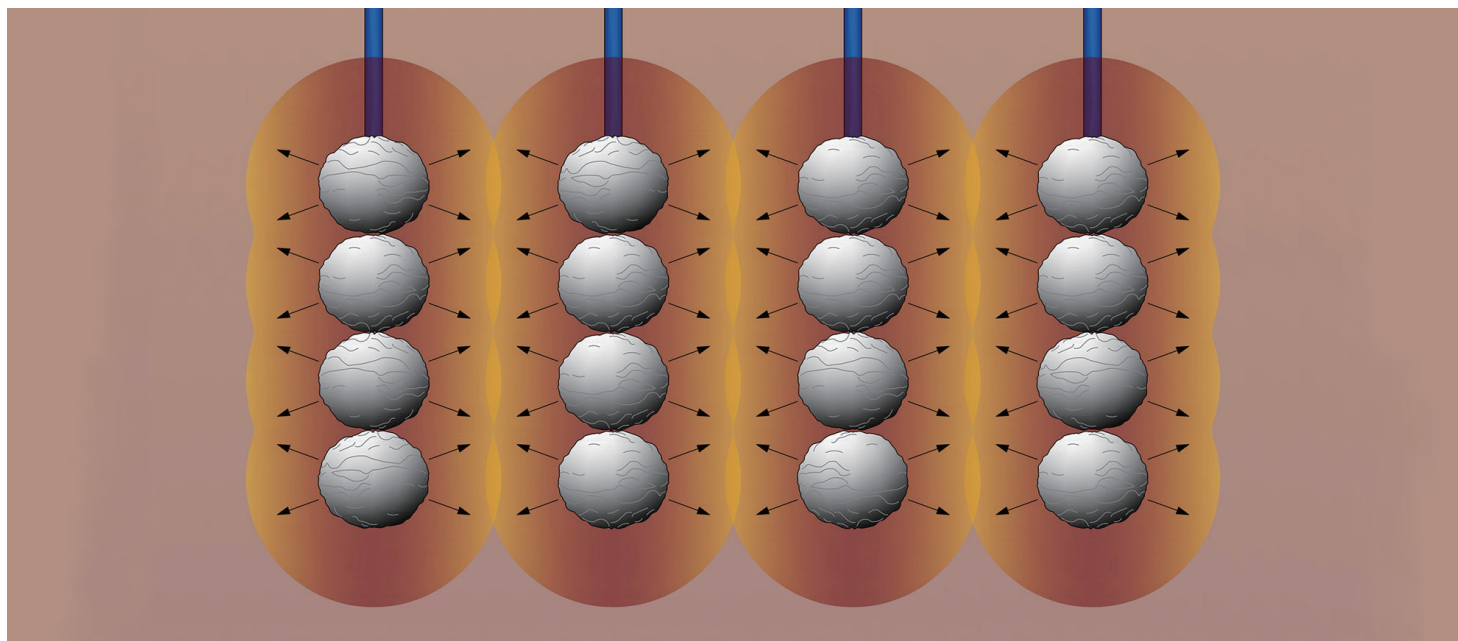


CPG工法® ComPaction Grouting

振動や騒音を発生させずに液状化を抑制できる 静的圧入締固め工法

CPG工法の概要

極めて流動性の低いモルタル(スランプ5cm以下)を振動や衝撃を発生させずに地盤中に圧入することで周辺地盤を圧縮し、地盤の密度増大により液状化を抑制します。



CPG工法の特長

●無振動・低騒音

専用ポンプを用いた静的圧入により地盤変位や近接構造物の変位が少ない

●硬質地盤の対応

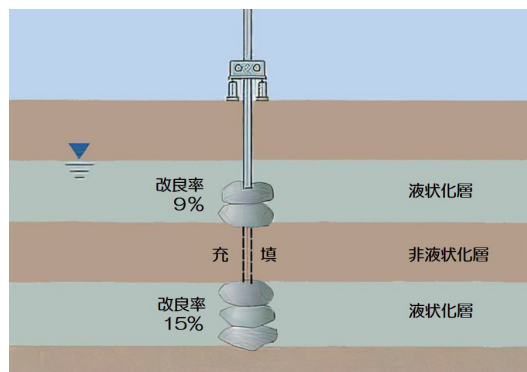
小径ロッドにより削孔するため硬質地盤も容易に貫通可能

●土質に応じた改良率が設定可能

注入量や注入間隔の調整により土層毎に最適な改良率による地盤強度の確保が可能(中抜き施工も可能)

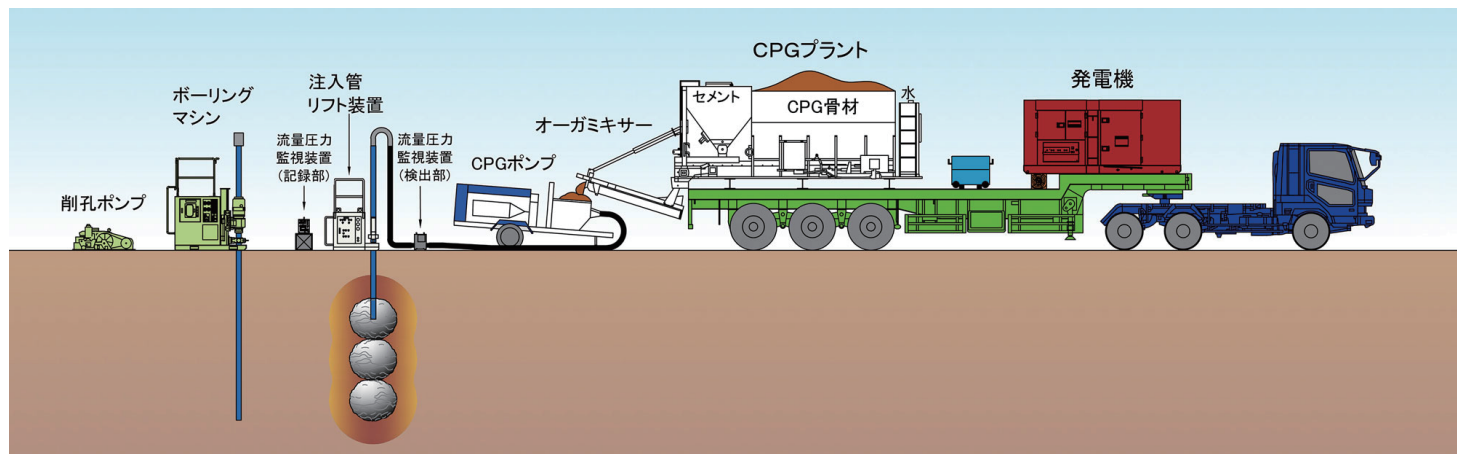
●コンパクトな設備

小型施工機により従来の大型コンパクション専用機では対応できない狭隘な箇所や空頭条件に対応可能
車載式プラント方式の採用により供用空港等の日々機材退避が必要な現場にも対応可能



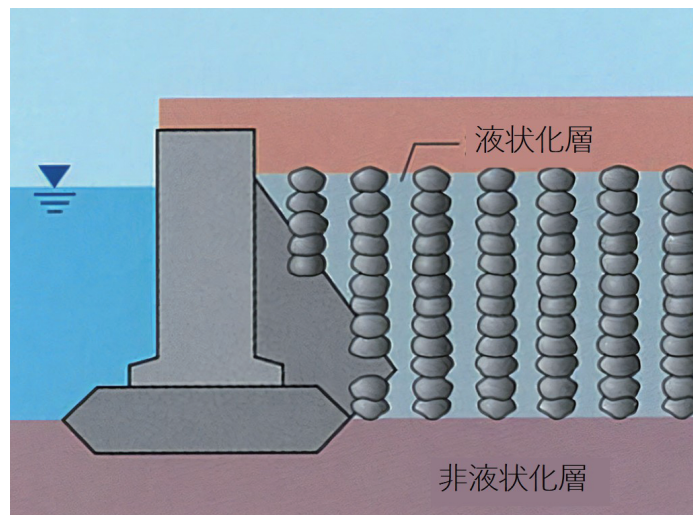
中抜き施工イメージ

施工システム例(車載式プラント)

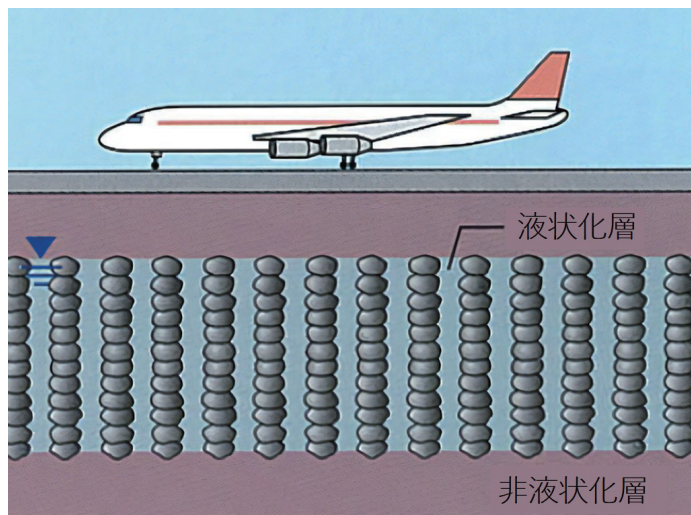


適用例(2024年3月現在:206件)

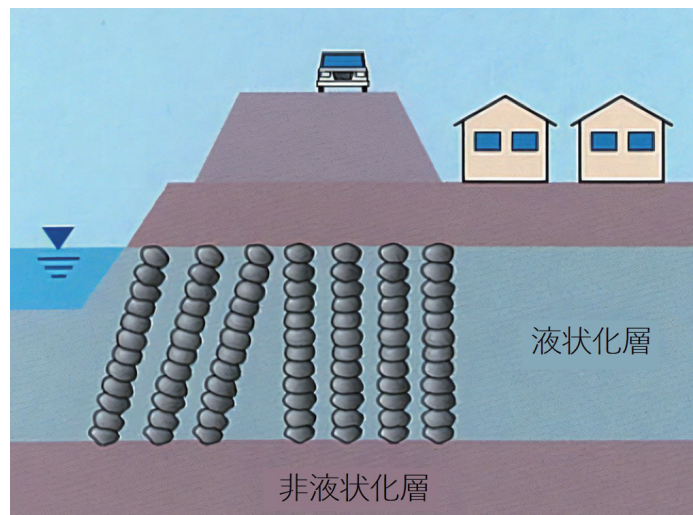
岸壁背面



滑走路下部



盛土構造物(狭隘・近接部)



貯油槽下部(狭隘・近接部)

